



“7・5ウルムチ虐殺”六周年および

“7・28ヤルカンド虐殺”一周年抗議集会

ウイグル独立を支持し、中国共産党の弾圧に抗議する！

2009年7月5日、ウイグルの首府ウルムチで行われたウイグル人の平和的な抗議行動は、中国当局の軍、警察によって、過剰な武力行使を通して残虐に制圧され、数千人がウルムチの町で殺害され、数えきれないほどのデモ隊参加者が逮捕されました。その後も、ウイグル全土における大逮捕キャンペーンによって、無数のウイグル人が投獄され、その中の多くの人たちは中国の杜撰な法体系により、死刑が執行されて、また多くの人達は行方不明となっています。

習近平体制になってからは、中国のウイグル人弾圧はさらに悪化し、2014年7月28日はヤルカンドでウイグル人のラマダーン（断食）活動を取り締るヤルカンド大虐殺が起きました。この虐殺は、家で断食活動をしている大勢の女性達を武装警察が殺害することから始まり、この殺戮に抗議した人々は更に機関銃で殺され、この理不尽の殺戮に立ち上がった大勢の住民は中国の正規軍に空爆等の軍事手段で殺されました。信じがたい出来事です。

「7・5ウルムチ虐殺」、「ヤルカンド虐殺」はウイグル現代史においては大きな悲劇です。

中国政府はウイグル人を国家の敵と見なし、彼らの基本的人権を全く無視し、様々な手段を使って、ウイグル人を追い詰めています。このような殺戮、弾圧から逃れる為に、多くの亡命ウイグル人は全てを投げ捨て、東南アジアを経由して、自由世界に逃げようとしています。しかし、東南アジアの一部の国々は中国政府の圧力に屈指し、難民達を強制送還したり、あるいは悪劣な環境の刑務所に入れたりして、女性や子供の死亡を齎しています。

ウイグル人が直面しているこのような悲惨な状況に対し、国際社会からは有効な救いの手は差し伸べられていません。アメリカ等西側諸国は、中国との経済関係を最優先し、中国のウイグル人に

対する人権侵害は軽く非難するだけで済ましています。イスラーム世界からもまともな反応は見られません。

国外に亡命しているウイグル人は「7・5ウラムチ虐殺」、「7・28ヤルカンド虐殺」を忘れることは出来ません。今回も世界同時に様々な国で追悼・抗議活動を行います。

世界ウイグル会議日本全権代表部は、正義を愛する日本の皆様に呼びかけ、中国のウイグル人に対する殺戮、人権侵害を非難すべく、抗議集会を開くことを決めました。

ウイグル人の悲劇的な日である7月5日に、ウイグル人を応援し、中国を非難し、日本からも大きな声をあげていただきたいと思います。

是非、多くの皆様方のご参加をお願い致します。

発起人代表

トゥールムハメット 世界ウイグル会議 日本・東アジア全権代表
頭山 興助 呉竹会アジア・フォーラム 会長

発起人（敬称略：順不同）

加瀬英明 外交評論家
平沼赳夫 次世代の党党首、衆議院議員
宮崎正弘 評論家、作家、ジャーナリスト
黄文雄 作家
西村幸祐 評論家
林建良 「台湾の声」編集長
茂木弘道 「史実を世界に発信する会」事務局長
石井英俊 「夢・大アジア」理事長
三木圭恵 前衆議院議員
小島健一 神奈川県議会議員 ウイグル支援地方議員連盟 会長
辻村ともこ 狛江市議会議員、ウイグル支援地方議員連盟 事務局長
柳毅一郎 浦安市議会議員
藤井巖喜 国際政治学者

集会期日 2015年7月5日（日） 17:30会場 18:00開演 20:00閉会

集会開場 東京都新宿区歌舞伎町2-4 4-1

東京都健康プラザ ハイジア 11階 多文化共生プラザ

参加費無料（カンパ歓迎）

事務局 東京都千代田区平河町1-7-5 ヴィラロイヤル平河904

電話 03-3556-3880（呉竹会アジア・フォーラム）